

美人画の四季

培広庵コレクション展



森川青坡《雪中二美人の図》昭和初期

2018年9月15日(土) ▶ 11月11日(日)

主催：公益財団法人小杉放菴記念日光美術館／日光市／日光市教育委員会

協力：培広庵／ヤマトグローバルロジスティクスジャパン株式会社

開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週月曜日(祝日のときは開館し、その翌日を休館)

入館料：一般720(640)円、大学生510(460)円、高校生以下は無料

* ()内は20名以上の団体割引料金

* 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方とその付き添いの方1名は無料となります。

* 第3日曜日「家庭の日」(9月16日、10月21日)は、大学生は無料となります。

和装で
割引!

会期中、着物でご来館いただいたお客様は観覧料を10%割引いたします。
(他の割引制度との併用はできません)

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 栃木県日光市山内2388-3 Tel.0288-50-1200 <http://www.khmoan.jp/>

美人画の四季

培広庵コレクション展

2018年9月15日[土] ▶ 11月11日[日]

日本画独特の一領域に、「美人画」があります。この言葉そのものは、大正期に徐々に確立されていったとされていますが、江戸時代に浮世絵として流行した「美人絵」からの流れにあり、時代ごとの空気をまといながら変化してきた世界でもあります。培広庵コレクションは、優美で高品な上村松園や錦木清方らの作品から、関西で活躍した北野恒富や島成園らに見られるアカダンスな雰囲気を感じた作品まで、明治から昭和にかけての変化をつぶさに眺めることの出来る、日本有数の美人画コレクションです。また紺谷光俊や森川青坡、栃木県出身の小川雨虹など、優れた美人画を残しているながらその実作品を見る機会が少ない画家の作品が含まれることも特徴です。本展では、これらの作品の魅力を引き立てている、日本の四季や雪月花といった伝統美にも着目しながら、近代美人画の逸品を10点以上の初公開作品とともにご紹介してまいりたいと思います。

美人を描けば美人画になるわけではありません。そもそも美人とは何なのか、ひいては人の美しさとは何なのか。そんなことを考える場を、この展覧会は与えてくれると期待しています。

会期中の催し物

■講演会「美人画ってなんだろう？」

講師：篠原 聡氏

(東海大学課程資格教育センター准教授)

9月30日[日] 午後2時より

※入館券をお求めのうえ、美術館受付前にお集まりください。

■担当学芸員によるギャラリー・トーク

9月22日[土]、10月21日[日]、11月11日[日]

各時間：午前10時～(1時間程度)



紺谷光俊《採果図》昭和初期



北野恒富《願いの糸》1914年頃



錦木清方《初雪》1912年頃

初公開!



山村耕花《四季図 [夏の虹・秋の月]》1918年頃



竹久夢二《投票券》1917年頃



上村松園《桜狩の図》1935年頃
(部分)



山川秀峰《鶺鴒》1920年頃

初公開!

アクセス

車で 日光宇都宮道路・日光インターから約2km

電車で 東武日光駅、JR日光駅から清滝・細尾・中禅寺・湯元、西参道(東照宮)方面行きバス5分。神橋停留所より徒歩3分

駐車場 併設の市営駐車場をご利用ください。美術館受付で駐車券を提示していただくと、1時間まで無料となります。休日、美術館周辺はたいへん混み合う場合がございますので、時間には余裕をもってお越しください。

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

小杉放庵記念日光美術館

ご案内図

